*2021年4月（第2版）
2020年5月（第1版）

届出番号　12B1X10020000127

機械器具 9　医療用エックス線装置及び医療用エックス線装置用エックス線管
一般医療機器・特定保守管理医療機器（設置）　汎用 X 線診断装置用電動式患者台　40655000
アリウスシリーズ ICU ベッド（KA-H7610）

【警告】

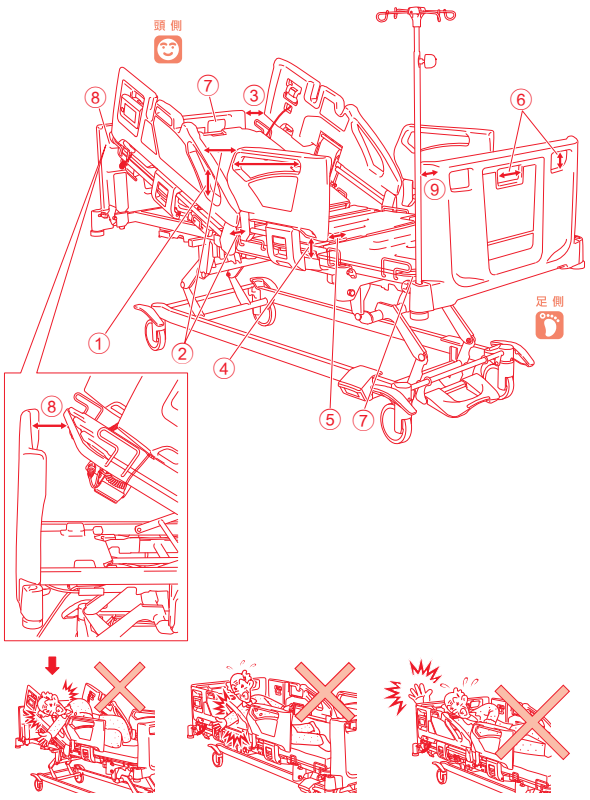
＜使用方法＞

●すき間に注意してください

［ベッドやサイドレールなどにはすき間があります。これらのすき間に身体の一部（特に頭や首など）をはさむと、けがをするおそれがあります。］
［下記に記載の項目に注意してください。］

①サイドレールなどの内部のすき間
②サイドレール（頭側）とサイドレール（足側）の間のすき間
③サイドレールなどとボードのすき間
④サイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（高さ方向）
⑤サイドレールなどとボトム・マットレスのすき間（幅方向）
⑥ボード内部のすき間
⑦ボードとボトム・マットレスのすき間
⑧あがっているボトムとボード・サイドレールなどのすき間
⑨ IV ポール・離床グリップ・フットスペーサー・けん引装置とボード・サイドレール・ボトム・マットレスなどのすき間

※図は一例です。



【禁忌・禁止】

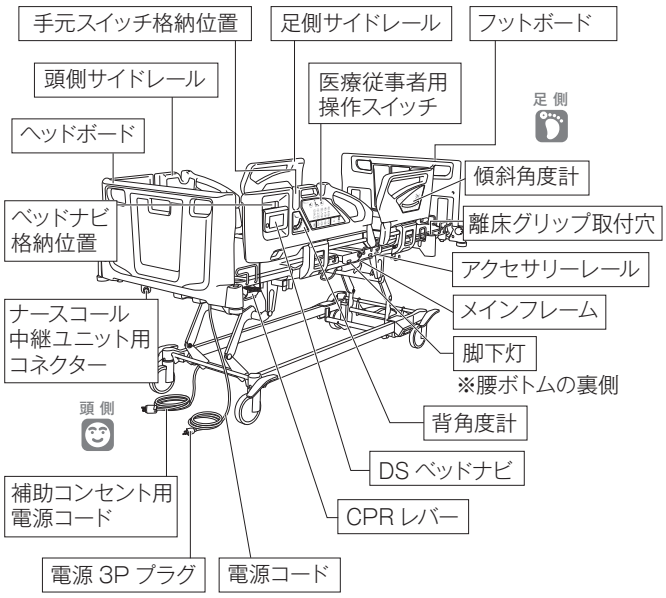
＜適用対象（患者）＞

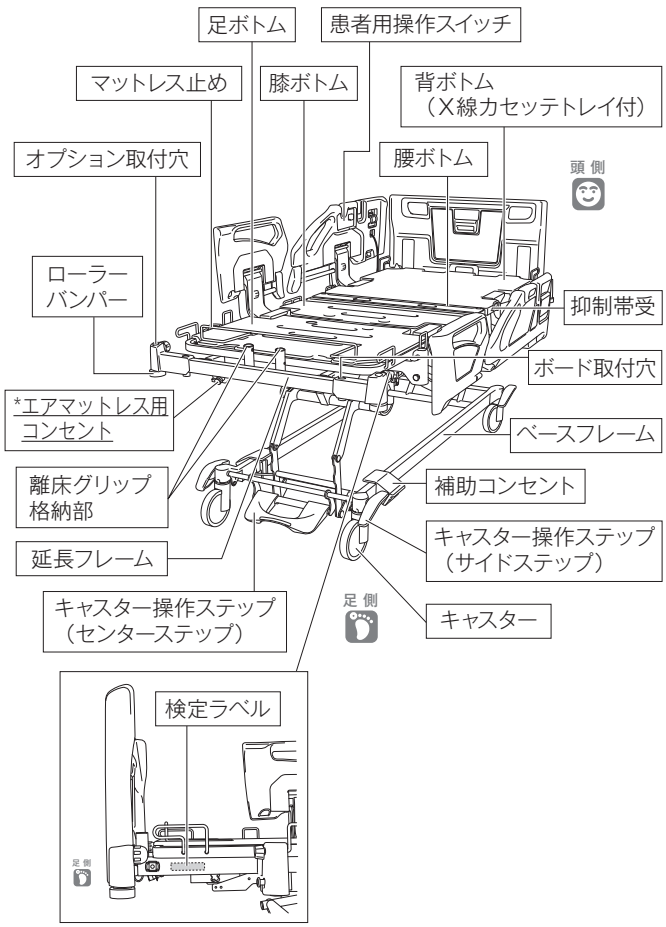
●小児（12 歳以下）には使用しないでください

［本製品は小児（12 歳以下）向けには設計されていません。サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。］
［サイドレールを使用していても、すき間から転落してけがをするおそれがあります。］

【形状・構造及び原理等】

■各部の名称





取扱説明書を必ずご参照ください

7F11938600A1

■主材料

ヘッド・フットボード	ポリエチレン樹脂成形品
サイドレール	ポリエチレン樹脂成形品
ローラーバンパー	エチレンプロピレンゴム成形品
背ボトム	フェノール樹脂板
腰／膝／足ボトム	ポリエチレン樹脂成形品
メインフレーム	スチール…電着・粉体塗装
操作スイッチ部	PET 樹脂成形品

■動作原理

●ポジション動作：電動リニアアクチュエーターの伸縮によるリンク機構

【使用目的又は効果】

●汎用 X 線装置を必要とする一般／平面画像の撮影や特別な診断撮影の場合に患者の体位を保持し、X 線撮影を行うための台

【使用方法等】

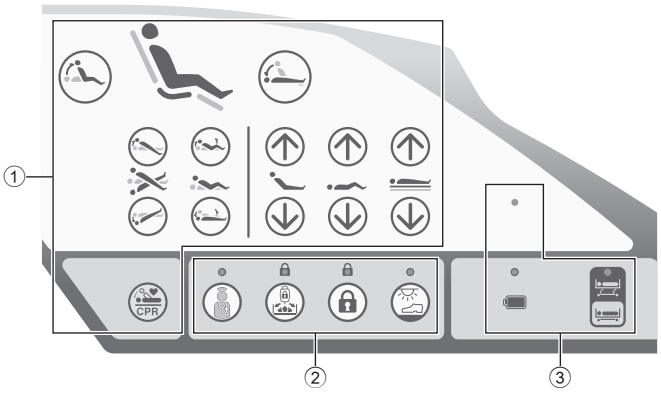
■設置方法

●取扱説明書に記載されている方法で設置してください。
●組立方法および記載されていない使用方法などについては、取扱説明書をご参照の上行ってください。

1. ベッドの操作

●医療従事者用操作スイッチは、医師や看護師など、ケアをされる方が操作を行うためのスイッチです。頭側サイドレールの左右外側にあります。

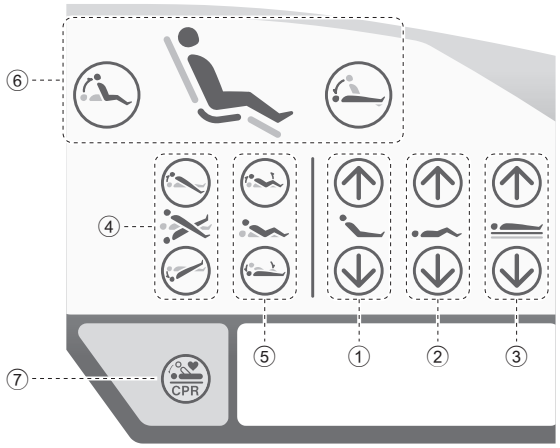
■各部の名称と働き



①ベッド操作ボタン ... ベッドの各ポジション操作と電動 CPR 操作ができます。
②機能ボタン ..... ナースコールへの通知・手元スイッチ操作禁止・全ての操作禁止の設定・脚下灯の操作ができます。
③状態表示..... ベッド高さの状態・エラーの有無をランプの点滅や明暗でお知らせします。

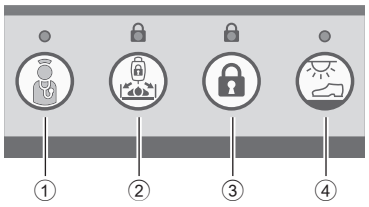
■ベッド操作ボタン

●ベッドは操作ボタンを押している間動き、離すとその位置で止まります。



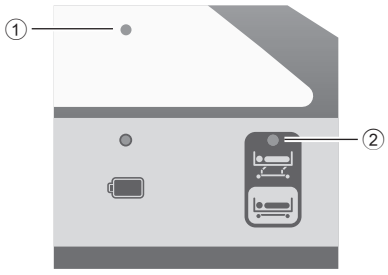
①背あげ・背さげボタン ..... 背ボトムの角度調節ができます。
②膝あげ・膝さげボタン ..... 膝ボトムの角度調節ができます。
③高さあげ・高ささげボタン ..... ベッドの高さが調節できます。
④傾斜ボタン ..... ベッド全体の傾斜角度調節ができます。
⑤カインドボタン ..... カインドで、背ボトム・膝ボトムの角度調節ができます。
⑥カインド PLUS ボタン ..... カインド PLUS で、背ボトム・膝ボトムの角度調節と、ベッド全体の傾斜角度調節ができます。
⑦電動 CPR ボタン ..... 背ボトム・膝ボトム・ベッドの傾斜をフラットにすることができます。
※電動 CPR ボタンは 2 秒以上または短く 2 回押すことで動作します。

■機能ボタン



①ナースコール補助ボタン
... ボタンを押すことで、ナースコールへ通知されます。
②手元スイッチ操作禁止ボタン
... 患者用操作スイッチと手元スイッチ（別売）の操作を禁止する際に使用します。
③全ての操作禁止ボタン
... 電動 CPR 以外のすべてのベッド操作を禁止する際に使用します。
④脚下灯ボタン
... 脚下灯を点灯させる際に使用します。

■状態表示



①エラー表示ランプ
... エラーが発生したことを橙点滅（速い・遅い）でお知らせします。
②ベッド高さ状態表示ランプ
... 最低高さ：消灯、最低高さ以外：点灯でお知らせします。

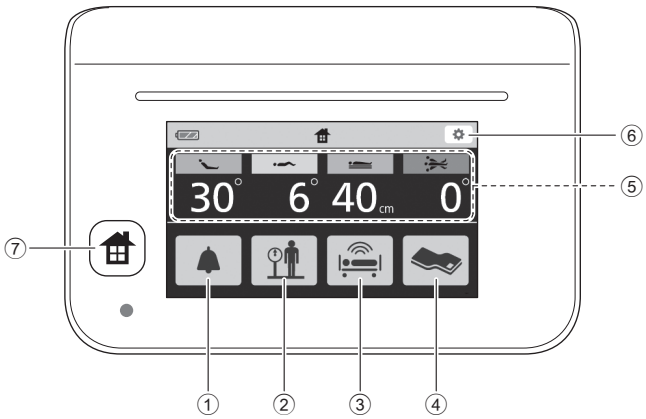
取扱説明書を必ずご参照ください

7F11938600A1

2. DS ベッドナビの操作

●頭側サイドレールの左右（外側）各１ヶ所に DS ベッドナビが付いています。DS ベッドナビは介護者・医師・看護師の方が、離床 CATCH・体重計・眠り SCAN（別売）・エアマットレス（別売）の操作を行うことができます。
●ベッドの背角度・膝角度・高さ・傾斜角度を表示します。
※ベッドのポジション操作はできません。

■各部の名称と働き
※表示はホーム画面です。

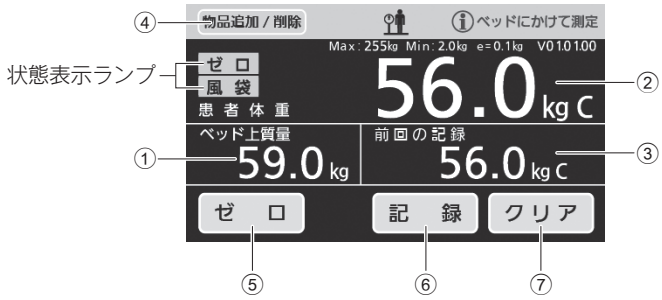


①離床 CATCH ボタン ....離床 CATCH 画面に移行します。
②体重計ボタン .....体重計画面に移行します。
③眠り SCAN ボタン .....眠り SCAN 画面に移行します。
※このボタンは、眠り SCAN を接続したベッドでのみ表示されます。
④エアマットレスボタン....エアマットレス画面に移行します。
※このボタンは、ここちあ利楽シリーズを接続したベッドでのみ表示されます。
⑤ベッドポジション表示...現在の背角度・膝角度・ベッドの高さ・傾斜角度を表示します。
※ DS ベッドナビに表示される数値(角度・高さ）は目安としてください。
⑥環境設定ボタン.....環境設定画面に移行します。
⑦ホームボタン .....ホーム画面を表示します。

3. 体重の測定

■測定範囲は 2.0kg ～ 255.0kg です。測定はこの範囲で行ってください。

■各部の名称と働き
※表示は DS ベッドナビの体重計画面です。



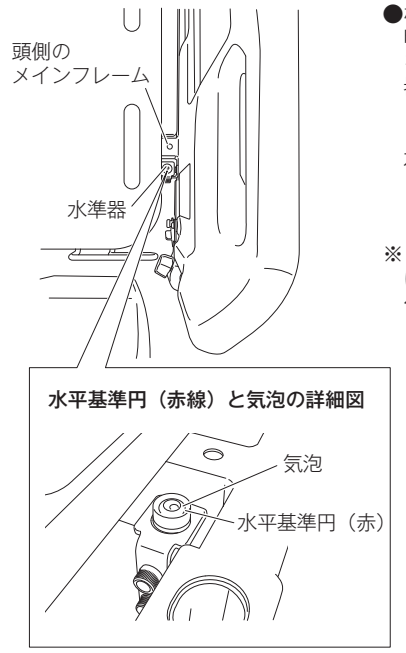
①ベッド上質量 ..... ベッド上の質量（ゼロ点補正あるいは風袋引きを行った場合は、これらを行った後にかかった質量）を表示します。（物品追加／削除機能の使用有無により、表示位置が変わります）
②患者体重 ..... 物品追加／削除機能を使用して、載せ降ろしをした物品の重さを差し引きした質量を表示します。
③前回の記録..... 前回記録した質量を表示します。
④物品追加／削除ボタン ... 物品追加／削除ができます。体重の測定を一時停止して、ベッドに布団などのものを載せたり、降ろしたりすることができます。
⑤ゼロボタン ..... ゼロ点補正をすることができます。
⑥記録ボタン ..... 測定した質量を記録することができます（1 件まで）。
※ 0.0kg 以下は記録できません。
⑦クリアボタン ..... 記録した質量を消去することができます。

状態表示ランプ...
ゼロ：ベッド上に荷重が加わっていないときに点灯します。
風袋：ベッド上の質量が風袋引き調整されているときに点灯します。
※ゼロ点補正中あるいは風袋引き調整中のときは点滅します。

4. 水準器

■ヘッドボードと頭側メインフレームの間に水準器を搭載しています。

■水準器の配置図



●検定付ベッドで「取引」・「証明」行為に体重計の測定値を使用する場合は、水準器でベッドが水平であることを測定前に必ず確認してください。ベッドの水平は水準器の気泡が水平基準円（赤線）の範囲内に入ることで確認できます。

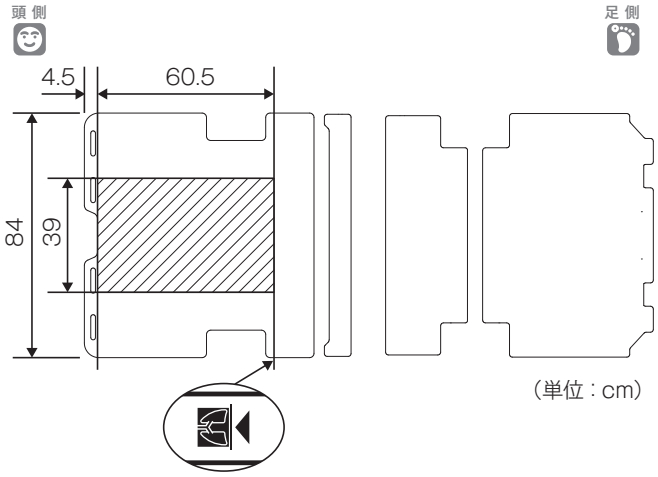
※ベッドが水平でない場合は、ゆかが水平な場所にベッドを移動してください。

取扱説明書を必ずご参照ください

7F11938600A1

5. X 線カセッテ撮影

●X 線撮影位置やベッドのポジションを適切な位置に調節してください。
●X 線が透過する位置を確認してから、X 線撮影装置を使用してください。
●下図の斜線の範囲内で、カセッテを使用した X 線撮影ができます。

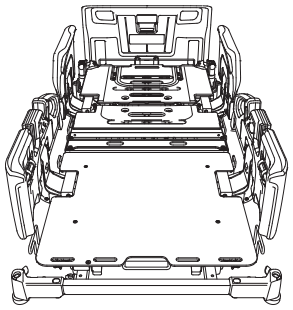


最大撮影範囲の目安となるシールを背ボトム側面に貼付しています。カセッテトレイの一番奥までカセッテをセットした場合は、このシールの三角形の先までが撮影範囲（目安）となります。

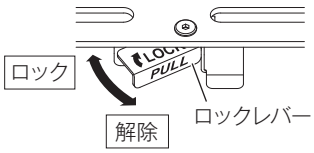
●カセッテは以下の指定サイズのものを使用してください。

使用可能な カセッテサイズ	大きさ...半切：38.8 × 46.4cm 以下 大角：38.8 × 38.8cm 以下 厚さ.....1.6cm 以下 質量.....3.5kg 以下

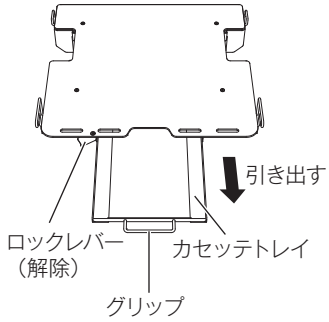
■カセッテのセット



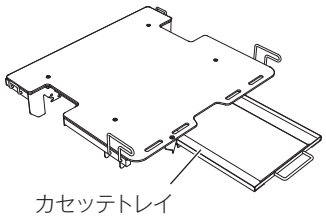
❶ヘッドボードを外してください。
※図はヘッドボードを外した状態です。



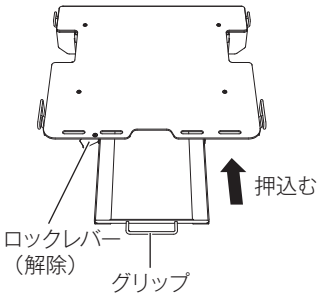
❷ロックレバーを手前に引いてロックを解除してください。



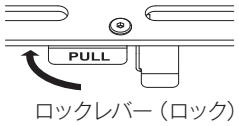
❸グリップを持ってカセッテトレイを最後まで引き出してください。



❹カセッテトレイにカセッテをセットしてください。
※胸部撮影をする際は、カセッテをカセッテトレイの一番奥まで差込んでください。

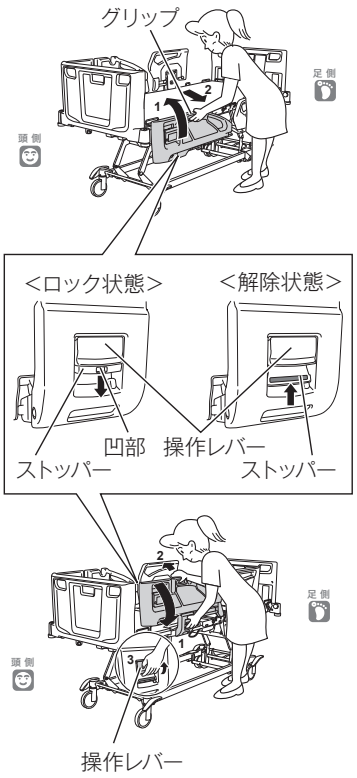


❺グリップを持って、カセッテトレイをゆっくりと奥まで押し込んでください。



❻ロックレバーをロックまで押し込んでください。

6. サイドレール



■サイドレールのあげかた

❶サイドレールを持ちあげて、「カチッ」と音がするまで確実に押込んでください。
❷ストッパーを橙色部分が見えなくなるまで上にあげて、確実に固定してください。
（ロック状態）
❸サイドレールを手前に引いてロックが掛かっていることを確認してください。

■サイドレールのさげかた

❶ストッパー中央部の凹部に（指）を掛け、下にさげてください。
（解除状態）
❷片方の手でサイドレールのグリップを持ち、奥（ベッドの中央方向）へ押してください。
❸奥へ押したまま、もう片方の手で操作レバーを手前に引き、サイドレールを支えながら止まるまでサイドレールをさげてください。

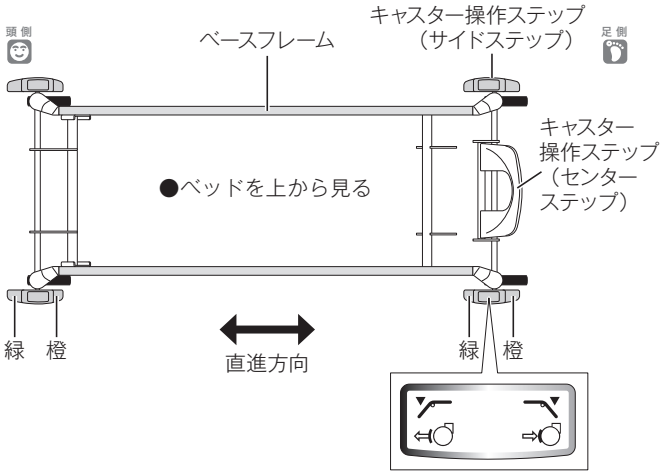
取扱説明書を必ずご参照ください

7F11938600A1

7. キャスター

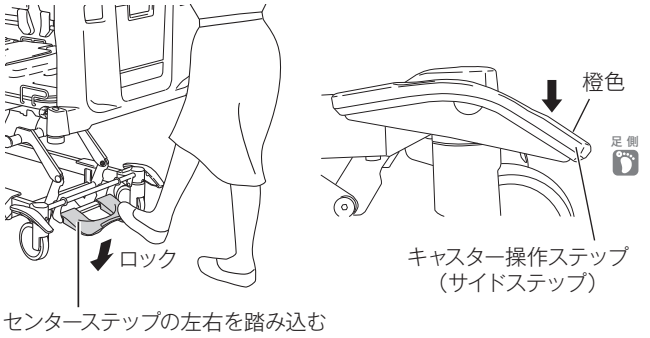
■セントラルロックシステム

●キャスターのロック操作は、足側中央にあるキャスター操作ステップ（センターステップ）と頭側･足側左右各２ヶ所にあるキャスター操作ステップ（サイドステップ）で行うことができます。



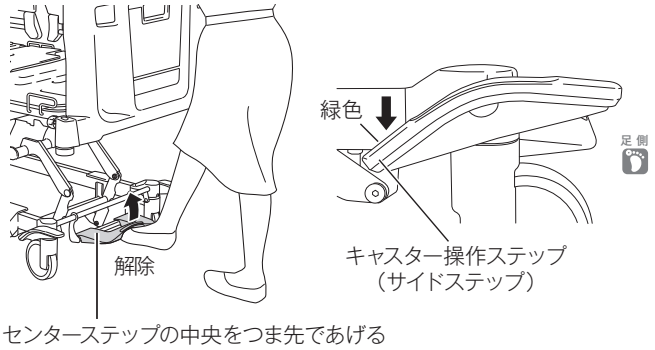
❶ 4 輪固定（ロック）

センターステップの端（左右）またはサイドステップ（橙）を踏みこむと 4 輪すべての首振りと回転がロックされます。



❷ 4 輪解除（フリー）

センターステップの中央をつま先であげるか、サイドステップ（緑）を踏みこむとロックが解除され、4 輪すべての首振りと回転が可能になります。



8. 緊急時の操作

■緊急時などに背ボトムについている CPR レバーを操作することで、CPR（心肺蘇生）を行いやすくすることができます。

● CPR レバーは、背ボトムの頭側左右に付いています。

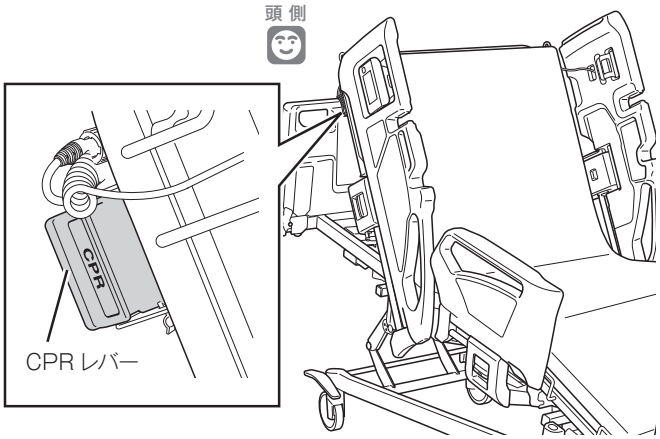
❶ CPR レバーを引いてください。

❷操作の途中で CPR レバーを戻すと、背さげ動作は止まります。

※患者の体重や背ボトムの角度によっては、背ボトムがさがりにくい場合があります。さがりにくい場合は、背ボトムをさげ方向に強く押してください。

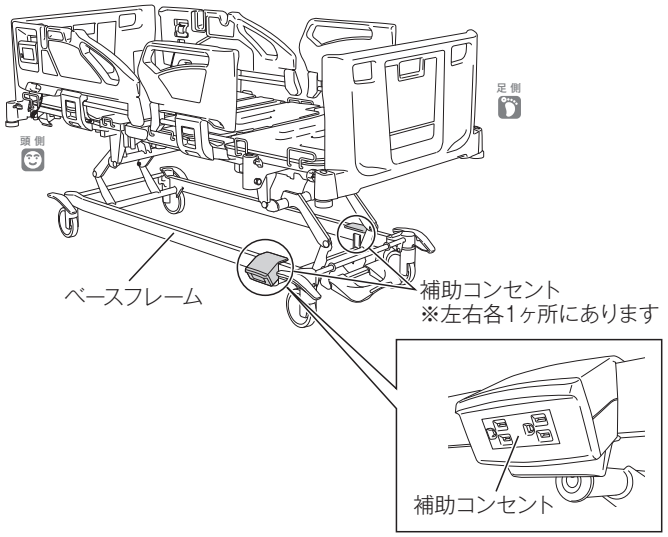
※ CPR レバーで背ボトムをあげることはできません。

※停電時や故障時でも操作することができます。



9. 補助コンセント

■ベースフレーム足側の左右各１ヶ所に補助コンセントが付いています。医療従事者や患者がベッド周辺で使用する電気機器のコンセントとして使用することができます。



●補助コンセントの仕様は以下の通りです。

補助コンセント	定格電圧：AC125V 定格電流：15A 最大電力：1500W

< 使用方法等に関連する使用上の注意 >

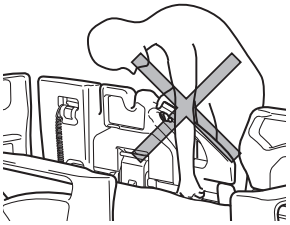
●次の操作を行う際は、周囲に人やものがないことを確認して行ってください
①ベッドのポジション操作
②サイドレールの操作
③延長フレームの操作
[身体のはさまれや、ベッドや周辺機器の破損により、けがをするおそれがあります。]
[下記の項目に注意してください。
○可動部のすき間によるはさまれ
○床とサイドレールのすき間によるはさまれ
○身体の一部がすき間に入った状態での操作
○ボードやオプション取付穴に取付けている機器などの落下
○患者につながっているライン
○抑制帯を取付けた状態での操作]

●処置などを行うとき以外は、ボードを取付けた状態で使用してください。
また、ボードを取外す際は、患者の状態に注意してください
[オプション類や周辺機器などのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。]
[ベッドから転落して、けがをするおそれがあります。]

●延長フレーム使用時に離床グリップ（別売）を使用する際は、フットスペーサー（別売）を使用してください
[離床グリップとフットボードのすき間に身体の一部がはさまれて、けがをするおそれがあります。]

●サイドレールの操作は、ベッドの外側から看護する方が行ってください
[患者などがベッドの内側から操作すると、サイドレールが急にさがるなどしてベッドから転落し、けがをするおそれがあります。]

●サイドレールの可動部に指などを入れないでください
[はさまれて、けがをするおそれがあります。]



●ベッドが傾斜した状態あるいは、ベッドの膝があがっている状態で、ベッドからの乗り降りはしないでください
[転落・転倒して、けがをするおそれがあります。]

●ベッドを移動させるとき以外は、キャスターにロックを掛けてください
[患者がベッドに乗り降りするときなどに、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。]

●壁側のコンセント（2口以上）の同じパネル内にベッド用の電源プラグと補助コンセント用の電源プラグを同時に接続しないでください
[壁側のコンセントが発熱して火災が発生するおそれがあります。]

●補助コンセントの左右に合計 1500 Wを超える電気機器を接続しないでください
[容量を超えて補助コンセントを使用すると、設備のブレーカーが作動したり、補助コンセント用電源コードや電源プラグが発熱して火災が発生したりするおそれがあります。]

●エアマットレスまたは眠りSCANを設置した状態で、カセッテトレイを使用してのX線撮影はしないでください
[エアマットレスまたは眠りSCANの部品が映り込み、X線撮影結果に影響をおよぼすおそれがあります。]

●カセッテをセットするとき以外は、カセッテトレイを一番奥まで押し込み、ロックレバーをロックした状態で使用してください
[ベッド動作により、カセッテトレイやカセッテが飛び出してけがをしたり、カセッテが破損・変形したりするおそれがあります。]

● CPRレバー操作中は、医療従事者用操作スイッチなどの電動操作を行わないでください
[モーターが破損するおそれがあります。]

【使用上の注意】

< 重要な基本的注意 >

●サイドレールをあげた状態でもベッドからの転落に十分注意してください
[厚みのあるマットレスを使用する場合、相対的にサイドレールが低くなります。そのため、サイドレールを乗り越えやすくなり、転落してけがをするおそれがありますのでご注意ください。]

●オプションや突起物に衣類などが絡まないように注意してください
[衣類などが絡まった状態でベッドを操作すると、衣類などが引っ張られるなどして、けがをするおそれがあります。]
[ベッドの乗り降りなどの際に転落・転倒して、けがをするおそれがあります。]

● DSベッドナビ・ベッドナビ（別売）のタッチパネルに強い衝撃を加えたり、鋭利なもので触れたりしないでください
[タッチパネルが破損してけがをしたり、感電したり、誤動作の原因となったりします。]

●ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください
[ベッドが破損・変形して、けがをするおそれがあります。]
[このベッドの安全動作荷重は255kg（2500N）です。]
[安全動作荷重は、ベッドを安全に使用できる荷重であり、利用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。]

●ヘッドボード・フットボードはボードストッパーのロックが掛かっていることを確認してください
[ボードの取付けが不完全な場合、ベッド移動でボードを押す（引く）ときや、身体を支えるためボードにつかまったときなどに不意に外れ、転倒などによるけがのおそれがあります。]

●マットレス止めを持って足ボトムを持ちあげないでください
[マットレス止めが外れて、足ボトムとメインフレームの間に手などがはさまれて、けがをするおそれがあります。]

●延長マットレス（別売）の端に手や足、膝などをつかないようにしてください
[支える部分がないため、バランスを崩し転倒して、けがをするおそれがあります。]

【保管方法及び有効期間等】

1）保管方法

＜保管時のベッドの状態＞

●離床 CATCH を通知オフにしてください。
●背ボトム、膝ボトムを水平にしてください。
●ベッドの高さを最低高さまでさげてください。
●必ず電源プラグをコンセントから抜いて、電源コードを挟んだり踏んだりしない場所に束ねてください。
●ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
●マットレスの上には何も載せないでください。
●ベッドは壁に立てかけたりせずに、水平なゆかに水平のまま保管してください。

＜保管する場所＞

●高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所を避けてください。
温度 -10 ～ 50℃、湿度 30 ～ 90%RH、大気圧 620 ～ 1060hPa の環境で保管してください。

2）耐用期間

●８年 [自己認証（当社データ）による]
ただし、指定の保守・点検と消耗部品（キャスターなど）の交換を行った場合に限る。

【保守・点検に係る事項】

1）点検

＜使用者による保守点検事項＞

安全にご使用いただくために、1年に1回は定期的に点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作、破損の有無などを点検してください。
異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、パラテクノコールセンター（取扱説明書参照）までお問い合せください。

＜業者による保守点検事項＞

点検頻度（時期）：年1回
摺動部、締結部、キャスターなどの点検
※業者による保守点検の詳細は、弊社または販売店までお問い合せください。
※当該製品の修理を行うには、医薬品医療機器等法に基づく修理業の許可が必要となります。

2）お手入れ

■汚れを落とす場合

●下記①～③の手順で行ってください。
①水で薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭いてください。
②水でひたした布をよくしぼって、残った洗剤分を拭き取ってください。
③乾いた布で残った水分を拭き取ってください。

■消毒する場合

●必ず下記の消毒剤を、指定の濃度で、消毒剤の取扱説明書などの指示に従ってご使用ください。

76.9 ～ 81.4%	消毒用エタノール
* ～ 0.2%	塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
* ～ 0.2%	塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
* ～ 0.05%	グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）
* ～ 1.0%	次亜塩素酸ナトリウム（ミルトンなど）

※揮発性のもの（シンナー、ベンジン、ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色･変質するおそれがあります。
※オゾン殺菌器、オートクレーブ滅菌器などには対応できません。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1）製造販売業者

■パラマウントベッド株式会社
☎（0475）81-3000（千葉工場）

2）販売業者

＜パラマウントベッド株式会社＞

本　社 〒 136-8670	東京都江東区東砂 2-14-5 東京支店	☎ (03)3648-1171 (代)
札幌支店 〒 060-0062	札幌市中央区南 2 条西 13-318-11	☎ (011)271-1181 (代)
仙台支店 〒 980-0015	仙台市若林区卸町 2-3-3	☎ (022)239-5211 (代)
さいたま支店 * 〒 336-0967	さいたま市緑区美園 3-23-1	☎ (048)878-0100 (代)
横浜支店 〒194-0004	東京都町田市鶴間 5-3-33	☎ (042)795-8800 (代)
名古屋支店 〒461-0001	名古屋市東区泉 1-20-17	☎(052)963-0600 (代)
大阪支店 〒550-0001	大阪市西区土佐堀 2-3-33	☎(06)6443-8791 (代)
広島支店 〒733-0011	広島市西区横川町 3-8-5	☎(082)293-1311 (代)
福岡支店 〒812-0013	福岡市博多区博多駅東 3-14-20	☎(092)461-1131 (代)

取扱説明書を必ずご参照ください

7F11938600A1